



子ども会は  
『子どもが自主的に様々な体験を通じて  
自分らしさを発揮する、地域における  
異年齢集団活動の場』です。

市子連の研修

市子連では、「単位子ども会の活性化」や「子ども会の本来のあり方」をめざして、  
育成者と子どもの両方を対象に研修をしています。

市子連だより 第4号

一緒にしゅいや！子ども会

発行所 米子市子ども会連合会  
米子市東町161-2  
米子市教育委員会生涯学習課内  
発行日 平成18年7月



親と子の共育ち

《育成者研修》

- ブロック別研修会（子ども会の概要、安全会制度、事業計画などの説明）  
5会場で延べ337名の参加があり、活発で和やかに話しあいました。
- 鳥取県子連研修へ参加・・・5/14（日）  
米子から2名参加し「子ども会って何？」のテーマで研修を受けました。
- 育成者実技研修・・・6/11（日）  
大山青年の家でハイキング、飯ごう炊飯、テント設営、ネイチャーゲーム  
など、14名が参加し楽しく研修しました。
- 子ども会年間計画の立て方・・・1/21（日）

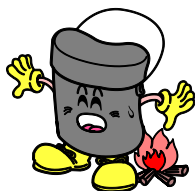
《子ども会リーダー育成研修》 単位子ども会で実践！地域のリーダー

米子市子ども大会！  
みんなで作り上げよう



市内の小学5、6  
年生34名が参加  
しています。

ひろげよう！  
みつけよう！  
やってみよう！



キャンプ！自ら行動・協力

沖縄交流！

異文化体験

## こどものみんなへ

子ども会で活動するときに、心がけてほしいことを考えました。やってみましょう！

その1 友達をいっぱいつくろう！ 違う地域、学校や学年の交流の輪を広げよう。

その2 行動はてきぱきと！ 遊ぶときとみんなで行動するときのケジメをつけよう。

その3 安全と健康に気をつける！ ムリはだめだよ。

その4 自分からすすんで行動しよう。自分のことは自分でしよう。

その5 来た時よりも美しく！ 次の人も気持ちよく使えるように

その6 その日の終わりにその日の活動の楽しかったこと、  
発見したことなどをふりかえてみよう。

その7 感謝の気持ちをもとう



## 子ども会活動を効果的に行うために...

下の「心得」は、子ども会リーダー育成研修に関わるすべての育成者のために、子ども達が自主的に活動するための「育成者のルール」としてまとめたものです。この研修に限らず、子ども会活動に参加する誰もが、常に活動の目的（ねらい）を頭において参加する事が大切だと考えています。

## 心得！

↓ ↓ いくつあてはまるかチェックしてみましょう ↓ ↓

### 子どもたちの自主性を育てるために・・・

**手も口も出さず、自主的な活動をしっかり見守る。**

子どもたちの主体性を守りましょう。大人の考えの押しつけを避けるためです

**話を最後まで聞いてから答える。**

話を途中で制しない。きちんと話ができる子どもにしましょう。

**答えを求められても自分で考えるように促す。**

なるべく本人の「気づき」を大切に話した話し方で接してください。

**子どもたちの考えたことを認める。否定しない。決めつけない。**

自分を基準にした否定や決めつけをしないように（あなたの考えが違うのかも？）

**安全・安心・自由をいつも心にとめ、子どもたちの人格を尊重した態度で接する。**

### 育成者としての向上のために・・・

**批判だけをしない。**

やり方を批判するのは構いませんが、いずれの批判も目的を達成するための批判であるべきです。「今はこのやり方だけどうしたらどうか？」といった建設的批判をお願いします。

**一人で判断せず、みんなに知らせる。（報告・相談・連絡）**

だいたいこうしたもんだ…子どもにはこうして言えばよい…など、個人が考えていることが正しいかどうかわかりません。一人での判断（意見）は避け、複数の人に相談してから行動（発言）しましょう。また、情報共有のためにもみんなに伝えるようお願いします。

**緊急の場合はこの限りでない。即時判断し対応してください。**

様々なアクシデントが予想されます。緊急性を判断し行動してください。